



令和4年度 喜多方市立豊川小学校 学校経営・運営ビジョン

【学校経営の方針】

- すべての活動を通して、「思いやり」「自己肯定感」「コミュニケーション力」を育成する。
- 全教職員の共通理解と共通実践、協働のもと、組織を生かした学校経営を推進する。
- 学校・家庭・地域が連携・協力し、地域とともにある学校づくりを推進する。

【教育目標】 ～ 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成 ～

- (心も体も) つよい子
- (自然と友達に) やさしい子
- (真剣に) まなぶ子

【めざす児童の姿】

	つよい子	やさしい子	まなぶ子
1年	めあてをもって、 がんばる子ども	ともだちと なかよくできる子ども	よくきき、はっきりはなす子ども
2年	めあてをきめて、 がんばる子ども	だれとでも なかよくできる子ども	よく聞き、よく考える子ども
3年	めあてをきめて、 ねばり強くがんばる子ども	友だちと 助け合える子ども	よく聞き、よく考え、 進んで学習する子ども
4年	めあてをきめて、 最後までがんばる子ども	思いやりの心を持ち、 助け合える子ども	自分の考えを表現し、 進んで学習する子ども
5年	めあてをきめて、 あきらめずがんばる子ども	相手の立場を考え、 協力し合える子ども	考えを交流しながら、 進んで学習する子ども
6年	めあてをきめて、 ねばり強くやりぬく子ども	お互いのよさを認め合い、 協力し合える子ども	自分の考えを豊かに表現し、 進んで学習する子ども

めざす学校像

- 子どもにとって、学ぶ喜びや楽しさにあふれる学校
- 教師にとって、勤めてやりがいのある学校
- 保護者、地域に信頼され、ともに歩む学校
- 安全・安心な学校

めざす教師像

- 子どもに寄り添い、認め、励まし、伸ばそうとする教師
- 指導力向上を目指し、日々研修・研鑽に励む教師
- 児童・保護者・地域から信頼される教師(不祥事の絶無)

保護者・地域の願い

- 思いやりのある子どもに育ててほしい。
- あいさつがしっかりとできるようにしてほしい。
- コミュニケーション力を身に付けてほしい。

令和4年度 学校スローガン(児童の行動・活動目標)

喜多方市の学校教育

<目標> 全ての子ども「生きる力」を育む

<方針> 幼児教育との連携を図りながら、全ての子ども一人一人の夢、希望、目標等を踏まえ、可能性やよさ、持ち味、特徴を引き出し、伸ばす教育を行います。

施策目標

- 施策目標 1 確かな学力の育成
- 施策目標 2 豊かな心の育成
- 施策目標 3 健やかな体づくり
- 施策目標 4 一人一人のニーズに応じた教育
- 施策目標 5 学びを支える環境の整備

喜多方市人づくりの指針「なかよく たくましく 生きる」

- 人を思いやり敬います
- 「こんにちは」「どうぞ」「ありがとう」を言います
- 勉強に励み体を鍛えます
- 人として恥ずかしい行いをしません
- 喜多方を誇り社会に役立ちます
- 私たちはくじけない強い心を持って目標に向かってやりぬきます

つよい子(健康と安全に気を付け、ねばり強くやり抜く児童の育成)

- たくましい体と根気強さの育成
 - ・ 体力向上推進計画に基づく計画的・継続的指導
 - ・ 体育科授業の充実(運動身体づくりプログラムの自校化、自分手帳の活用)
 - ・ めあてを持たせた指導(授業、各種行事、係活動、児童会活動 等)
- 正しく判断し、自ら行動できる力を育てる安全指導の推進
 - ・ 安全行事・安全教育の充実(交通教室、避難訓練、防災・放射線教育 等)
 - ・ 日常的な安全指導と施設設備点検等の実施
- 望ましい生活習慣の育成
 - ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化と食育指導の推進
 - ・ むし歯ゼロ・治癒率の向上、肥満率解消に向けた指導
 - ・ メディアの適正利用についての指導(オフ・スクリーン運動、情報モラル教育、スマホ・ケータイ安全教室)

やさしい子(他者と協調し、認め合い支え合う思いやりのある児童の育成)

- 自己有用感、自己肯定感の育成
 - ・ 自他のよさを認め合う活動の推進(SST授業、「さんくん」の徹底、ほか/別等)
 - ・ 心の居場所のある学級づくり(Q-Uの活用、学級力の可視化)
 - ・ いじめ、不登校の防止と早期発見・解決(組織的対応、SCやSSWの活用)
- 思いやりや社会性の育成
 - ・ 道徳科及び各教科等との関連を図った道徳教育の充実
 - ・ 生命や人権を尊重する教育活動の重視(人権教育、規範意識の育成)
 - ・ 縦割り班活動、異学年交流活動、奉仕的活動、体験活動の充実
 - ・ あいさつ、返事、正しい言葉遣い、後始末の徹底
- 特別支援教育の推進
 - ・ 通常学級における困り感のある児童の理解と支援
 - ・ 個別の教育支援計画・指導計画に基づく支援の充実

まなぶ子(進んで学び、自分の考えを豊かに表現できる児童の育成)

- 学ぶ楽しさを味わいながら進んで学ぶ態度の育成
 - ・ 「わかる」「できる」喜びを実感できる授業づくり(「授業スタンダード」の活用)
 - ・ 主体的・対話的に学び合う多様な学習活動、学習形態の工夫
 - ・ 個に応じた指導の充実(習熟度別学習、TT指導、タブレットの活用 等)
 - ・ キャリア教育の充実による学習意欲の醸成(夢や目標をもって学ぶ態度)
 - ・ ICTの積極的活用
- 生徒指導の機能を生かした授業づくり
 - ・ 自己決定の場、自己存在感、共感の人間関係への配慮
 - ・ 学びの心構え、学習規律の徹底(豊かっ子「学習のやくそく」の活用)
- 家庭と連携した家庭学習習慣の育成
 - ・ 家庭学習時間:学年×10分+10分の確保(家庭学習名人、オフ・スクリーン運動)
 - ・ 読書習慣の形成(読書タイム、読み聞かせ、家読、司書との連携 等)

学びを支える環境(家庭・地域と連携・協働し、ともに歩む学校づくり)

【家庭との連携】

- 家庭での生活習慣、学習習慣、読書習慣の形成
- 家庭での「あいさつ・返事・正しい言葉遣い・後始末」の実践
- 「オフ・スクリーン運動」「メディア利用5つの約束」の実践
- PTA活動の活性化(保護者会、学習環境の整備、安全確保 等)

【地域との連携】

- コミュニティ・スクール制度の推進
- 「豊川ながら見守り隊」の活動
- 地域人材、施設等の活用(農業科、生活科、総合 等)
- 学校支援ボランティアの活用
- 学校評価の実施、結果公表と学校改善の推進
- 学校の情報発信(学校行事等の公開、教育ポータルサイト、学校だより 等)

【幼・小・中・高との連携】

- 一中学区共通「オフ・スクリーン運動」の推進
- 幼小中連携による学習指導・生徒指導の推進
- 喜多方桐蔭高校との交流によるキャリア教育の実施
- 中学校区学校改善委員会・学校保健委員会等の開催

